**校長　大西　俊猛**

**平成31年度　学校経営計画及び学校評価**

１　めざす学校像

|  |
| --- |
| 生徒一人ひとりを大切にし、みなが生き生きできる多様性を大切にする学校づくりをめざす。  １「何ができるようになるか」を大切にし、生徒の視点に立った「わかる」授業づくり、**考える力を育む授業づくり**をめざす。  ２ 人権教育を基盤にした、生徒一人ひとりを大切にする**「安全安心な学校づくり」**を行う。  ３ 生徒の**多様な進路実現を支援する学校づくり**をめざす。  ４ **最終学年の卒業に向けて**、学校行事の工夫など教育活動の質**を**より一層高め**る**。 |

２　中期的目標

|  |
| --- |
| １　生徒の視点に立った「わかる」授業づくり、**考える力を育む**授業づくり  　　（１）新学習指導要領を踏まえ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善に取り組む。  ア　基礎知識の習得、コミュニケーション能力の向上、学習意欲を高める取組みを組織的にすすめる。また評価方法の研究も引き続き行う。  　　　　　　　　※学校教育自己診断（生徒向け）「授業がわかりやすい」をH31年度も80％以上。（**H30年度80.5％←**平成29年度76％）  　　　　　　　　※学校教育自己診断（生徒向け）「グループ学習や発表形式の学習」をH31年度も70％以上。（**H30年度71.3％←**平成29年度61％）  　　 　　イ　ICT(プロジェクター等)を活用した授業を多様な教科で行い生徒の授業への満足度を向上させる。  　　　　　　　　※学校教育自己診断（教員向け）「ICT等の設備の活用」をH31年度も90％以上を維持。（**H 30年度90.0％←**平成29年度94.4％）  ２　人権教育を基盤にした、一人ひとりを大切にする、安全安心な学校づくり   1. 人権委員会を中心に人権教育、いじめ防止、教育相談、学習支援にかかわって連携を一層充実させ、一人ひとりを大切にする教育の充実を図る。   ア　学年・分掌・教科が連携し、SCやSSWなど外部人材や外部機関との関係を構築しチーム学校としての指導体制を行う。  ※学校教育自己診断（教員向け）「外部人材や外部機関との連携」をH31年度は80％以上。（**H 30年度74.3％←**平成29年度75.5％）  ※学校教育自己診断（教員向け）「教育相談体制の整備」をH31年度も80％以上を維持。（**H 30年度90.0％←**平成29年度79.2％）  イ　人権HR等を通して、お互いを大切にする態度の育成をめざし、人権侵害を許さない学校体制づくりを引き続き進める。  　　　※学校教育自己診断（生徒向け）「互いに思いやることの大切さを学ぶ」をH31年度も80％**以上**。（**H 30年度80.8％←**平成29年度73％）  ウ　生徒への安心アンケート等を活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。  　　　※学校独自の安心アンケートの不安度の肯定的回答をH31年度も90％以上。（**H 30年度95.6％←**平成29年度89.7％）   1. 防災教育の充実を図る。   ア　本校の立地から、東南海トラフの大地震を想定し、学校生活にとどまらず校外の一般生活でも自分の身の安全を守る方法や、周囲・地域の人への貢献を考える姿勢などを身につけさせる。   1. 生徒が安全・安心に学校生活が送れるよう、安全点検の実施など事故防止の取組みを図る。   ３　「面倒見のよい」地元の高校として多様な進路実現を支援する学校づくり   1. 生徒・保護者・地域の多様なニーズに応え、進路指導の充実を図り、就職内定率、進学決定率の向上を図る。   ア　校内外の環境の変化に対応した進路指導を行い、就職内定率100％・進学決定率100％、進路未定率**15％以下(H30:10%)**を目標とする。  イ　進学も就職もできる幅広い進路選択が可能な指導体制の充実に取り組む。  ４ 　**最終学年の卒業に向けて**、学校行事の工夫など教育活動の質**を**より一層高め**る**。  （１）**最終年度の**文化祭や体育祭をはじめすべての学校行事で独自の工夫を凝らし、**生徒の充実感を高める**  　　　　　※学校教育自己診断（生徒向け）「体育祭や文化祭には楽しく参加」をH31年度は80％以上。（**H 30年度77％←**平成29年度74.9％）  　　　　　※学校教育自己診断（生徒向け）「学校へ行くのが楽しい」をH31年度は80％以上。（**H 30年度74％←**平成29年度66.3％）  　　（２）**少ない教職員数のもと、より**効率的な校内**運営をすすめるため**一致団結した教職員集団**体制の維持**  　　　　　※学校教育自己診断（教員向け）「教員間が相互理解しあい信頼関係が醸成」をH31年度も90％以上。（**H 30年度92.5％←**平成29年度84.6％）  　　（３）**少ない教職員数のもと、**効率的な**学校**運営**を通して**長時間勤務縮減につながるよう働き方改革に取り組む。 |

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

|  |  |
| --- | --- |
| 学校教育自己診断の結果と分析［平成　年　月実施分］ | 学校運営協議会からの意見 |
|  |  |

３　本年度の取組内容及び自己評価

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中期的  目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
| １「わかる」授業づくり | (1)  考える力の育成 | (1)  ア　基礎知識・技能の習得、**事実に基づいた論理的な思考（考える力）の育成、**学習意欲を高める取組みを組織的にすすめる。  イ プロジェクター等を活用したわかりやすい授業で生徒の満足度を向上させる。 | (1)  ア　学校教育自己診断(生徒)  　「わかりやすい」**H30:81%→80%以上 維持**  　「考え・発表する」**H30:71%→70% 以上維持**    イ 学校教育自己診断（生徒）  「教材や教え方に工夫している」  **H30:82%→80%以上 維持**  　 (教員)「ICT等の設備の活用」  **H30:90%→90%以上 維持** | 中上位層の割合を増やすということであれば、H28〇人？○％を〇％にするという指標を設定することは難しいでしょうか？  下位層を〇％⇒○％  中上位層を〇％⇒○％  自己評価をされる際の指標はどのようにされますでしょうか？ |
| ２　一人ひとりを大切にする安全安心な学校づくり | 1. 支援体制の充実 2. 防災教育の充実 3. 校内環境・設備の充実 | (1)  ア　SCやSSWなど外部人材や外部機関との連携をより効果的にしチーム学校としての指導体制を行う。  イ　HR等で人権を大切にする学校体制づくり  ウ　安心アンケート等で、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。  (2)　学年ごとの防災教育の内容を充実させ、  多様な状況にあったプログラムづくりを  すすめる。  (3)　各学期末ごとの椅子の破損など安全点検をきめ細かに行う。 | (1)  ア　学校教育自己診断（教員）「外部人材や外部機関との連携」**H30:74%→80%以上**  「教育相談体制の整備」  **H30:90%→80%以上維持**  イ　学校教育自己診断（生徒）「互いに  思いやることの大切さを学ぶ」  **H30:81%→80%以上維持**  ウ　安心アンケートから安心度の向上  　　　安心度（5点満点）の平均  **H30:4.2→4.2以上維持**    (2) 学校教育自己診断（生徒）「防災について学ぶ機会」80%以上**H30:85%→80%以上維持**  (3) 学校教育自己診断（生徒）「施設・設備の安全衛生面」　**H30:70%→80%以上** |  |
| ３　多様な進路実現を支援 | 1. 就職内定率、進学決定率の向上 | (1)  ア　就職内定率、進学決定の上昇を図り進路未定  率の減少を図る。  イ　進学指導体制の充実 | (1)  ア　就職内定率100％　　（H30：100％）  進学決定率100％　　（H30：100％）  進路未定率 15％以下（H30：12％）  イ　進学講習の充実や大学見学、進学資金説  明会などの実施状況  （H30の状況維持またはそれ以上の回数） |  |
| **４　最終年度の教育活動の質の向上** | (1) 学校行事の創意工  夫  (2) 効率的な学校運営体制  (3) 働き方改革 | (1) 最終年度の文化祭や体育祭をはじめすべての学校行事で独自の工夫を凝らし、生徒の充実感を高める  (2) **少ない教職員数のもと、より効率的な校内運営をすすめるため一致団結した教職員集団体制の維持**  (3)少ない教職員数のもと、効率的な学校運営を通して長時間勤務縮減につながるよう働き方改革に取り組む。 | (1) 学校教育自己診断（生徒）「体育祭や文化祭には楽しく参加」**H30:77%→80%以上**  　・「学校へ行くのが楽しい」  **H30:77%→80%以上**  **・「大正高校に来てよかった」80％以上**  (2) 学校教育自己診断（教員）「教員間が相互理解しあい信頼関係が醸成」  **H30:93%→90%以上**  　・「教員の連携が緊密に行われ、情報が共有  され、組織として機能している。」  　　　　　 H30:88%→90％以上  (3) **超過勤務時間の減少** |  |